

授業科目(ナンバリング)	社会の理解(DA101)			担当教員	大島 啓		
展開方法	講義	単位数	2単位	開講年次・時期	1年・後期	必修・選択	選択(介護必修)
授業のねらい							アクティブ ラーニング の類型
<p>この科目は、社会福祉学科の専門基礎科目であると同時に、介護福祉士の受験必修科目である「社会の理解」の内容の一部をなす科目でもあり、内容的には、2年次後期の「社会保障論A」とセットになっている。したがって本科目では、社会保障論Aで学ぶ、日本のさまざまな社会保障制度を理解する前提として、以下の点について到達することを目標とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・変化する私たちの生活と地域社会に関する専門的知識を修得し、個人と家族、地域社会や集団、現代のライフスタイルの変化などの単位で人間を理解する視点を養い、また生活と社会の関係性を体系的に捉え学習し、その知見を社会生活の様々な課題に適用することを通じて、それを解決することができる。 ・対象者の生活の場としての地域という観点から、地域共生社会や地域包括ケアの基礎的な知識を修得・学習することができる(詳しくは社会保障論Aで学ぶ)。 ・介護の職務を遂行するにあたって、介護サービス利用主体の生活や社会背景を理解し、サービスを提供するのに必要な行政施策の仕組みや法制度(介護保険法や高齢者福祉、障害者福祉および権利擁護等の制度・施策)について理解する。 							②
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	変動する私たちの生活と地域社会の課題に関する専門的知識・技能を修得し、それらを社会生活の様々な課題に適用して解決するための条件を解明できる。				・定期試験	20%	
情報収集、分析力	介護保険制度や、介護サービス利用主体の生活および社会背景に関する情報を収集し、それを分析する能力を身につけることができる。				・定期試験	70%	
コミュニケーション力	ホスピタリティの精神に基づき、自分の考えを他者に明確に文章で伝えることにより、相互理解を図る営みに参加することができる。				・リフレクションカードにおける質問事項	10%	
協働・課題解決力							
多様性理解力							
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>「定期試験」では筆記試験を実施する(評価比率90%)。穴埋め問題と論述式の設問を出す。定期試験では、地域社会の課題に対応できる基礎知識の理解度が身についているかを問う。リフレクションカードにおける質問事項(評価比率10%)では、地域社会の課題に対応できる思考力を確認し、良い質問があれば評価の対象とする。なお質問に関しては、授業内に回答の形でフィードバックを行う。</p>							
授業の概要							
<p>講義形式を基本とするが、折に触れて受講者に意見を聞いたり質問したりするので、うまく対応できなくてもよいから素直に発言すること。講義は、指定テキストと毎回配布するレジュメを併用して行う。</p> <p>上記のとおり、この科目は介護福祉士資格受験科目の一部であるので、同資格取得志望者はこの科目と、2年次後期の「社会保障論A」を必ず履修すること。なおこの授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：介護福祉士養成講座編集委員会編『新・介護福祉士養成講座第2巻 社会の制度と理解(第6版)』中央法規・2017</p> <p>指定図書：介護福祉士国家試験受験ワークブック編集委員会／編集『介護福祉士国家試験受験ワークブック2017』上・下</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>社会福祉は特別な領域ではない。家族や親族、近隣の人々の暮らしの中で出会うことの多いものである。介護従事者や家族の介護を担う人々、あるいは高齢者、障害を抱えた人々の理解を通して、社会福祉が私たちの生活とどのようにかかわるのか、地域にどのような介護のニーズや社会資源があるのかについて、関心を持ってほしい。なお次ページの「予習・復習」欄に記載されている教科書の部分を、授業前日までに読んでおくこと。</p>							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	生活と社会福祉①	社会と生活のしくみ、生活の構成要素について学ぶ	予習・復習：教科書第1章第1節を読んでおく
2	生活と社会福祉②	家族の構造・形態・機能・役割について考察する	予習・復習：教科書第1章第2節を読んでおく
3	生活と社会福祉③	地域社会の集団・組織・変貌について学ぶ	予習・復習：教科書第1章第3節を読んでおく
4	生活と社会福祉④	社会と組織（機能と役割）・新しいネットワークについて	予習・復習：教科書第1章第4節を読んでおく
5	生活と社会福祉⑤	労働環境と家庭・少子化と高齢化・育児と介護・地域社会とライフスタイルについて学ぶ	予習・復習：教科書第1章第5節を読んでおく
6	生活と社会福祉⑥	社会福祉と社会保障・自助/互助/共助/公助について	予習・復習：教科書第1章第6節を読んでおく
7	社会保障のしくみ①	社会保障の基本的な考え方について学ぶ	予習・復習：教科書第2章第1節を読んでおく
8	社会保障のしくみ②	日本の社会保障制度のしくみについて	予習・復習：教科書第2章第2節を読んでおく
9	社会保障のしくみ③	現代社会と社会保障制度について	予習・復習：教科書第2章第3節を読んでおく
10	社会保障のしくみ④	地域共生社会の実現に向けた制度や施策	予習・復習：教科書第2章第4節を読んでおく
11	介護保険制度のあり方①	高齢者福祉と介護保険制度創設の目的について	予習・復習：教科書第3章第1節を読んでおく
12	介護保険制度のあり方②	介護保険制度のしくみについて	予習・復習：教科書第3章第2節を読んでおく
13	介護保険制度のあり方③	介護保険制度にかかわる組織とその役割	予習・復習：教科書第3章第3節を読んでおく
14	介護保険制度のあり方④	介護保険制度における専門職の役割、介護保険制度改正の流れと地域包括ケア	予習・復習：教科書第3章第4節、5節を読んでおく
15	障害者福祉のあり方①	障害者福祉と障害者保健福祉制度	予習・復習：教科書第4章を読んでおく
16	定期試験		定期試験の準備